

広報かがわ

第74号

編集発行
香川自治会
広報委員会
中央タイプ印刷

お出掛け前に
戸締まり用心
火の用心

雪に清められ

お神輿奉納



二月二十六日、朝からの雪が
みぞれになる中を「どっこい」
「どっこい」の掛け声に寒さを
吹き飛ばしながら、「か組」会
の神輿が諏訪神社に奉納された。
長い間、浜降祭、諏訪神社の

ねて神輿の渡御が行われる予定
である。

会員募集の連絡先は
亀井読売新聞店(7)九六五
曙光ストア(5)九四八五
魚賢 (7)七六一

次年度への準備始まる

三月十二日次年度の組長会が
午前、第一、第二町内会、午後
第三、第四町内会と開かれ、そ
れぞれ評議員が選出された。

選ばれた評議員と組長の代表に
よって、各町内会長が、また町
内会長によって、自治会長が選
出され、そして三月末までに各
町内の役員もきまり、五十九年

度の活動が開始される。
選出された評議員の方々
(第一)鈴木 実 高橋 修
中山七重(第二)高橋 猛 菅
野一夫 市川新造 熊沢克躬
(第三)赤羽理一 遊部 篤
市川 浩(第四)安田泰三 越
智哲而 石嶋一男 熊沢茂之



身の回りの 改革から

岡本貞雄

政府は行政改革と、増税なき
財政再建をうたっています。
そのようなことを念頭に於いて
三つのことを申したいです。

第一に、環境整備のことです。
毎月のガラクタ集取場所には、
粗大ゴミが山と積まれています。
実に不思議な位の量で、大量生
産、大量消費の実態をそこに見
る思いです。物を大切にすること
が見失われているようになりま
せん。そこで実態の姿を統計的
に調査したら如何なものかと考
えるのです。具体的には、ある
一定の期間パトロール等をして
みてはどうかと思います。

それと環境整備の役割として
永年続けられてきていた床下消
毒の件ですが、このことについ
ても市当局と一般家庭の皆様と専
門家を交えての充分な討議と実
際の統計をとってその実情を適
格に把握することが大切と思ひ
ます。

第二の提案は、会員の入会の
ことです。自治会員の入会は、
各自の自由意思ですが、転出の
場合はその月をもって会員でな
くなることは必然です。転入時
入会は毎月組長さんを通じて受
けて居ります。これを多少簡素
化する意味で会計事務と同じ扱
いにしたら如何なものかと二年
の反省から提案したいのです。
そのようにしますと、年四回の
取扱いで済みますし、総務委員
長ならびに、伝達員の方の負担

も多少軽減されると思ひます。
第三の提案として、多少批判
めいたことですが、県のたより
が新聞の折込と一緒に時折配布
されているようです。これは大
変無駄なことだと思います。一
般の家庭では商品、スーパード
の広告なら相当の関心事として目
を通すと思ひますが、こと県の
たよりとなるとそのまま見捨て
られているのが大多数の家庭の
実情ではないでしょうか。故に
県当局が重要と思われる事項は
広報がさきに依頼して、県の
ページをもつけたらと思ひます。
又は、新聞の地方版に県のた
よりを広告した方がよほど効果
的ではないでしょうか。それと
関連した方法で、市当局の香川
地区に關した件については、最
大限のニュース情報として載せ
て頂いたらと思ひます。

犬と人間

原田 実

犬と人間が仲良く暮すようにな
ったのは紀元前のことだ。そ
の後、人類の歴史の中で番犬、
愛玩犬、猟犬として人間の生活
に犬類は切っても切れない関係
にある。

あの「ニカウ」達ブッシュマ
ンの中にも、犬がウロウロ、テ
レビの画面に登場してきたし、
南極物語の「タロー、ジロー」
が「おしん」と共に昨年マスコ
ミの大きな話題になったのも耳
新しいことである。

しかし、また一方犬の嫌いな
人達も沢山いる。幼少時、小犬
に吠えられたり、噛まれたため
に長ずるに及んで犬嫌いになっ
た人もいるだろうし、飼いが
愛犬を家族同様、座敷で同じ食
飼を与えているのを見て身の毛
のよだつ思いをし、犬はおるか
その飼い主まで敬遠ぎみになっ

たという事例もしばしば聞く。
近年、近隣騒音という公害が
全国でも話題になり、先日NH
Kテレビでも、泣き寝入りの率
が非常に多いというデータが
報告されていたが、犬による吠
き声騒音、フンのたれ流しなど
もその対象にあることは申すま
でもない。最近話題になった鎌
倉のピアノ騒音訴訟もご承知の
通りである。

茅ヶ崎保健所環境衛生班の話
によると、現在市内には七千
百四十四頭(二月末現在の犬が
登録されている由、香川世帯数
から推計すると三百三十四頭い
ることになる。

神奈川県動物保護センターが
提唱している、
「他人に迷惑をかけない為に
飼いが守る七ヶ条」
の中に「犬のしつけや訓練を、
その習性を十分に理解し、他人
に迷惑をかけないよう、生後九
十日位でしつけること」とある。
これは犬に限ったことではなく
猫においても全く同じ事が言え
る。

ある獣医学臨床研究をしてい
る先生(香川在住)の話による
と「犬が一才になるときまで
(人間で言えば二十才)のしつ
けが、世に言う「三ツ子の魂百
までも」で大変大切な時期」で、
この期間の飼いの心構えの重
要なことについては、前述の動
物保護センターの意見とほぼ同
じである。

更に続けて、「犬の騒音という
ものは、その吠き声を近隣の誰
もが眉をしかめる騒音とみるか
どうか、客観的背景も確かにあ
る」とのことである。犬猫の泣
き声は、その声を聞く人によっ
て、受け方が様々なことは申す
までもない。

犬は、その飼い主に対する自分
の欲求、心情を訴えるために、
あるいは同族、車に対する恐怖
愛憎から吠えるなど、犬の心理
的(?)要因は種々であるうが
要はその飼い主と、日常どの程
度親しく交際しているかどうか
によっても、受け方が違うと思

う。

迷惑な路上駐車

最近、公道に自動車の無断駐
車(特に夜間から早朝にかけて)
があちこちでみられますが、次
の要望がありましたので該当者
の皆さまの自粛を特にお願ひし
ます。

◎香小PTA校外指導より
夕刻から夜間にかけて、学童
の塾などからの帰途、曲り角の
ため見透しのきかない場所もあ
り、特に危険なので路上駐車は
やめて駐車場に入れてください。

◎消防委員より
緊急時に路上駐車があると大
変支障をきたし、そのために人
命に關係する事態も予想される
ので、お心当りの方は違反のな
いようお願いします。

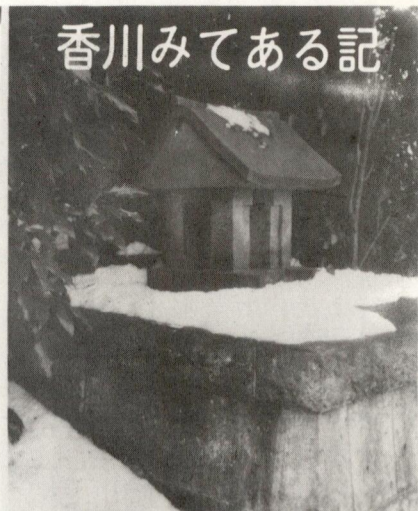
◎近隣の環境衛生より
無断駐車だけでなく、それに
伴うタバコの吸いがらなど、ゴ
ミの問題も連動して起る場合が
あり、大変困っています。

また、駐車による夜間、早朝
の騒音はお互いに迷惑であり、
騒音公害を防ぐ面でも、是非協
力をお願いします。

雪

四年 兵 井 操
雪、雪は白くてつめたい
空からばらばらふつてくる
風にのってどこに
おるかわからない
ほんとどこへおるやら
一日中ふつていたら
いいきもち

香川みてある記



(石祠形塔)

年号 明和二丙 戊正月吉日
(西歴一七六六)
形態 光背形双
体像
原町では道祖神祭
にのぼり(幟)を立
てた。
奉納 道祖神
原町氏子
中
大正拾四
年一月十
四日

香川の道祖神

現在、香川には五体の道祖神が祀られている。

○堂庭 (熊沢武光氏前)

年号 不明

形態 光背形双体像

願主 □右エ門

○北町 (坪田工務店前)

年号 元治二乙丑年

形態 光背形双体像

願主 (熊沢千代吉氏裏)

○殿内

年号 安永二年正月吉日

形態 石祠形塔

願主 地神講中

施主 殿内氏子中

○前記の二百年祭に新造した石祠が並んでいる。

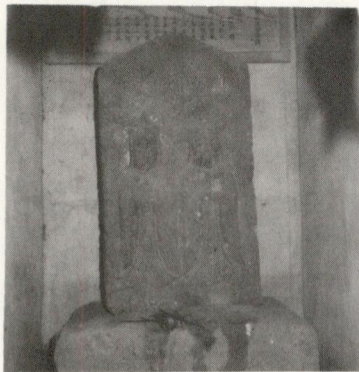
年号 昭和四拾六年五月

形態 石祠形塔

願主 殿内氏子中

施主 (山口屋前)

(光背形双体像)



(どんど焼き)

この時の氏子、廿六名とある。道祖神の祭りとは――
一時は下火になっていった民俗行事の中には、最近になって復活してきたものが少なくない。
「セト」もその一つである。
十二月八日はヨーカーゾーといつて、この日に目一つ小僧といつて、化け物が部落中を回って悪い事をしていっているものを全部、帳面に書きつけておき、帰りにそれを「来年の二月八日にとりに来るから」と、セノカミさんに預けていくという。帳面を持っていかれては大変である。
そこでセノカミさんが預かっているうちに、これを焼いてしまおうと正月十四日にセトをする。「セトばらい」「どんど焼き」とも呼ばれるが、今でも市内各地で盛んに行われる火祭りである。
色とりどりの団子を持って焼きに行くのは、子供心にも楽しいレクリエーションだし他の祭りと違って、他所から移って来た人達も地元に参加しやすい祭りなのだろう。
道祖神は病気や、悪いものを一手に引きとってくださる神様として信仰があったようだ。
特に子供の疫病(ほうそう)流行病など、よろずのまがごとを引きとってくださった。だからセトの火にあたり、その火で焼いた団子を食べると「風邪をひかぬ」「虫菌にならない」とは市内どこでも云われることで「団子を他人のものを取り替えて食べなければだめだ」という所もある。

子供が種痘をしてうまくついた時、湯かけをした。サンダワラ(米俵の両端にある凹むらふた)に座らせ、もう一つのサンダワラを頭にのせて湯をふりかける。そして大豆を炒って大豆御飯を食べ、その御飯をサンダワラに少々おせて道祖神に納めた。
春先になるとそのサンダワラが三つ、四つと道祖神の前に上げてあったものだという。
また、壊れた雛人形や、正月のダルマ、松飾りなどはセトでお焚き上げにした。
小学生達は銘々の書き初めを笹竹の先につけて、セトの火の燃え盛っているところにかざし火のついた書き初めが高く燃え上がる。手が上がる。(上手になる)といつて喜んだ。
セトが終わった後、燃え残りの木を人に見られぬように持ち帰り、門口や、かき根にさしかけておくと災難よけになるといわれた。
正月のお飾りや、年末に納めるお札類を粗末にしては心がとがめるが、セトはお焚き上げの丁度よい機会になる。
数々の民俗資料、風習が都市化の波に失われ、損なわれていくのは残念である。残せるものは何とか残す工夫をして、美しい、おらかな先祖の遺産を子孫に伝えておきたいものだ。

参考資料 市教育委員会発行
「茅ヶ崎の道祖神」より

まず近隣のふれあいから

二月二十五日香小図書館にて青少年育成協議会(会長 岡本豊)主催の地域懇談会が行われた。出席者は、北陽中生徒指導担当の先生、香小児童指導及び六年生の先生、PTA、民生委員、子供会、香川自治会等、子供を見守る団体の代表が多く、一般の方の出席が見られなかったのが残念だった。
意見交換では、お互いがよその子にも気軽に話かけられるよう地域づくりにし、大人がそれぞれの立場からいっしょけんめいやっている姿を見せることも必要だ。そして子供の過保護について、ややもすると大人が手を出し過ぎ、子供の自立、自主性をおさえつけてしまっているのではないか、ある程度つき放しながら周りがそっと見守ってやるのが大事ではないか、等意見が出された。

高南一周駅伝

一月十五日 成人の日 恒例の高南一周駅伝が行われ、男子一部地区対抗(十八チーム)、二部実業団・高校チーム(二十一チーム)、三部女子(八チーム)が一斉にスタート、昨年まで北陵高校前スタートだったが、今年からは交通事情等のため北陽中学校前に変更となり、新コースを走った。香川地区チームは健闘むなしく男子十一位、女子五位に終わった。

卓球大会

二月十二日、香川小体育館にて地区卓球大会が開かれた。毎年トーナメントだったが、今回はリーグ戦形式をとり、各地区の選手たちは寒中、元氣よく和気あいあいとゲームを競っていた。
結果は 一位―松風台
二位―甘沼 三位―第四町内会
午後からは個人戦も行われたが、残念なことに参加人数が少なく今ひとつ盛り上がりなかった。
―来年からはもっと大勢の参加を―と体振役員は望んでいる。地域のみなさん、初心者でも気軽に参加してみてください。

新しい民生委員

五十八年十二月一日民生委員児童委員の任期満了にともなう改選が行われ、香川地区は次の七名の方が委嘱されました。

12月11日	第二町内会44の2組
飯田三郎	73才
1月27日	第三町内会
河合義光	19組
2月9日	第二町内会
矢野佐代子	24組
	38才

謹んでお悔み申し上げます。

計報

自治会日誌

12月10日 体育振興会
11日 消防委員会
消化器詰替

私の自慢

山口 武広



私の田舎は信州ですが、小学生の頃から写真が好きでした。田舎の自然や風景等をカメラに収めるのが楽しみでした。
途中、中断してしまいましたがこの香川に移ってからは又趣味の写真を始め、このところ四季折々に咲く花の写真を撮り続け今では二、三千枚位になるだろうか、アルバムに整理中です。
これからもこの地域の昔からの行事や、自然の風物等を撮り続けたいと思っています。
(第三町内)

編集後記

今年はずいぶん程の大雪に、子供は喜び、大人は大いに戸惑った。つめたい雪をかぶりながら、ほんの少し顔をのぞかせている。もう春も近い。
長いようで短かく、短かいようで長い二年間だった。